

東日本大震災を忘れない、それが支援

介護新時代の情報誌

Better Care [ベターケア]

[特集 1]

いま認知症と どう向き合うか

上野秀樹 [医療法人海上寮療養所・精神科医]

精神科医療の「宅配」

てるてるぼうずの会—若年性認知症のための
認知症の人と家族の会富山県支部

松下やえ子 [城西国際大学総合福祉学部准教授]

在宅生活を支える「生活援助」サービス

NPO法人認知症予防ネット

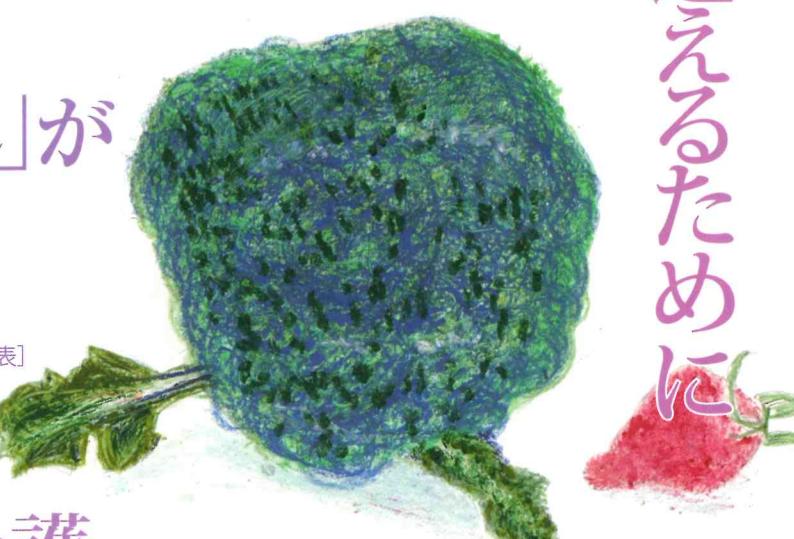
優しさのシャワーで認知症予防

>対談<

いつも「暮らし」が あった

吉沢久子 [評論家・作家]

浜田きよ子 [高齢生活研究所代表]



百人百色の介護

千葉県松戸市／神奈川県藤沢市／大阪府岸和田市

59
2013
Spring

春

[特集 2]

▽特別対談 ▷

新田國夫
[医療法人社団つくし会理事長]

沖藤典子
[シンフィクション作家]

わが家で死を迎えるために



介護旅行にお出かけ！

トラベルヘルパーと 趣味を広げて毎日いきいき

■好きな事をしているときの表情は輝いています！

こんにちは！SPIあ・える俱楽部のヤスカワです。みなさんの趣味は何ですか？読書、手芸、映画、音楽……誰でも何かに夢中になったことがあると思います。以前、ある男性歌手のコンサートに行った時、杖について一人でいらっしゃっているご高齢の女性をたくさん見て驚きました。コンサート会場は階段が多くて大変そうでしたが、みなさんの表情はいきいきとしていました。いつまでも好奇心をなくさずにいたいですね。

■お嬢様からのプレゼント 大好きな民謡を聴きに！

96歳のS様は民謡が大好きです。お母様に大好きな民謡を聴かせてあげよう、とお嬢様が2泊3日の浅草観光を計画されました。メインイベントは民謡酒場。S様も当日を楽しみにされました。お店には階段がありました。トラベルヘルパーがいれば安心です。演奏が始まると、じーっと真剣に舞台をみつめていらっしゃいました。ご一緒したトラベルヘルパー梅原さんのスマイルレポートです。

「明るく、たくましく、笑顔とお話の絶えない素敵なお客様でした。人に感謝を忘れず、エレベーターのなかで、レス特朗で、みなさんに感謝をのべられます。その都度気持ちがほっこりするのは、私だけではなかったと思います。民謡酒場の津軽三味線の若い方にもエールを送られました。会場では、96歳のお客様ですと、舞台から紹介していたとき、他のお客様たちから拍手が巻き起こりました。S様がそこにおられるだけで素晴らしいことなんだ、と思いました。」

S様はその後も民謡酒場にお出かけになっています。先日は三味線の演奏をバックに、民謡をお歌いになったそうです。歌声を聴いてみたいですね。



トラベルヘルパーとランチタイムです。

■トラベルヘルパーと 毎月のお稽古

あ・える俱楽部の古くからのお客様で、毎月のお稽古にトラベルヘルパーをご利用いただいている方がいらっしゃいます。渋谷の教室に通い、陶器の絵付けをされています。細い筆を使いこなし、細かい絵をお描きになるお客様。お部屋にはいままでの作品がたくさん飾られています。おしゃれをして、ご一緒に旅するトラベルヘルパーとのおしゃべりを楽しみながら電車を乗り継ぎお稽古に通い、先生方やお仲間との趣味の時間を楽しむ。とても豊かな日常生活を送られています。



丁寧に細かい絵を描きます。

■何よりの楽しみ！マス席で大相撲観戦

大相撲が大好きなY様。普段はテレビで観戦していますが、昨年の誕生日に初めて両国国技館で大相撲を観戦されました。それからも時々、国技館にお出かけされています。トラベルヘルパーがお迎えに行くと、待ちきれないご様子のY様がお出迎えしてくれます。Y様は、マス席に座ると、番付表、パンフレット、メモ帳、ボールペンを几帳面に並べ、正座をして真剣に観戦されます。トラベルヘルパーもついて行けないほどの相撲知識をお持ちで、ごひいきの力士が勝つと大きな拍手！お土産を購入したり、いろんな写真を撮ったり、国技館での1日を堪能し、帰りにはもう一つのお楽しみ。夕食にラーメンを食べるがお決まりのコースです。次のお出かけも楽しみにされているそうです。



大相撲観戦中は集中！



株式会社 SPI あ・える俱楽部 URL <http://www.aelclub.com>

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-13 トップビル10F
電話 03-6415-6480 / FAX 03-6415-6488 / E-Mail tabi@aelclub.com

※トラベルヘルパー（外出支援専門員）®は株式会社SPIの登録商標です。